

# 市民ネットワーク 議会通信

2015年  
千葉市議会第4回定例会  
11月27日～12月16日



## あなたはその非公募に納得できますか？

### 指定管理議案が33件中、非公募が15件

今議会では、コミュニケーションセンター、ハーモニープラザ、生涯学習センター、スポーツ施設や文化施設など指定管理者の指定議案が出されました。前定例会に引き続き、非公募による選定の議案に対して、非公募とした理由及び指定管理予定候補者の評価・判断基準について、市民が納得できるものなのか、慎重に審査しました。

### いきいきセンター全9施設一括での指定管理議案に反対

2012年の外郭団体の事務事業の見直しにより、いきいきプラザといきいきセンターは収益性がなく、看護師など専門的なスタッフを確保する必要があることから、千葉市社会福祉事業団が運営を担うことが適当とされ、非公募により選定することとなりました。「いきいきセンターのあり方も社会福祉事業団の経営を重視した決定ではないか」また「社会福祉事業団を非公募で選定するとなれば、地域のNPOや市民団体がいきいきセンターという地域密着施設の施設管理・運営を担う可能性を閉ざす」として反対をしました。

今回も、いきいきプラザは中核施設として、非公募での社会福祉事業団への指定は理解するものの、いきいきセンターは「社会福祉事業団以外で管理できない施設」とは思えず、「運営の公共性、安定性など外郭団体の特性を発揮する必要性が高い」施設とも思えないことから反対しました。収益性はないものの、指定管理料の範囲で、その団体らしい管理運営ができる可能性は十分あります。超高齢化社会に向かう今、アクティブ

シニア世代が活躍する場としても、地域で福祉を担い得る様々な市民団体、NPOなどがいきいきセンターを運営することで、それぞれの地域にあった活動拠点になるのではないのでしょうか。

### 指定管理者制度とは？

地方公共団体が直営または外郭団体に委託していた、「公の施設」管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、2003年の地方自治法改正により創設された制度。



集合住宅にあるいきいきセンター

### 「議員の期末手当引き上げ」に反対

議員の期末手当の支給月数を0.1月分(77万円)引上げるための条例改正議案に反対しました。千葉市議員の給与に関する条例等の一部改正に合わせ、市議会議員についても同様の改正を議員自らが提案し、採択したのです。

一般職員及び市長等特別職の期末手当は0.1月分引上げが行われましたが、一般職員については、平均1.9%の月例給減額措置、市長は期末手当の50%減額。現状では、実質的な職員給与は民間給与との水準に及ばず較差が残っています。

財政健全化に向けて、一般職員や市長等は身を切る姿勢を市民に示す一方、市議会議員については報酬カットをしていないばかりか、一般職員の改正に準じて期末手当を引上げるとの提案を自ら行う姿勢には賛成できません。一般職員や市長等特別職と足並みを揃えるのであれば、減額措置も足並みを揃えるべきではないでしょうか。

自民・公明・未来民主は賛成。皆さんが選んだ議員が議案にどのような賛否を出しているのか、是非関心をもってみてください。

(渡辺 忍)

宝くじ  
買うなら市内でね

### 総務委員会報告

「宝くじ」の正式名称は「当せん金付証券」で、法に基づき発売されます。千葉市の来年度発売限度額が100億円以内と議決されました。収益金は市の財源となります(2014年度は約28億円)。

財源確保の点からも、市民に対し市内での購入を呼びかけるよう求めました。

## 千葉市の指定廃棄物が無くなった?!

東日本大震災後、新港清掃工場では7.7 tの指定廃棄物(\*放射能濃度が8,000Bq/kg以上)を一時保管中でした。しかし、9月に参議院議員が出した質問主意書に対する国の回答で、本市の廃棄物の放射能濃度は8,000Bq/kg以下に減衰していると推定されることが明らかとなりました。

そのような中、市議会正副議長と市長から提出した「詳細調査候補地選定にかかる再協議の申し入れ」に対し、12月14日に環境省から市長に「県内1カ所集約保管の方針を変えない」との回答がありました。市長は、「実質的には指定廃棄物が無い状態で、到底市民の理解は得られないことなどから、詳細調査の受け入れは不可」と回答しました。



新港清掃工場の指定廃棄物を視察

市民の不安解消のため、市は説明責任を果たすこと、また、今まで寄せられた市民の声を重く受け止め処分場候補地を返上し、市民の安全で健康的な生活を守るよう要望しました。